



デザインする際は作業所の利用者がかわいいと思えるものをイメージ。色には「ニワトリだから白でいいわけではない」とこだわり、複数のアクリル絵具を混ぜた温かみのある桃白色で着色してある。今年も120個を完成し、12月1日から販売している。

活動情報

『NPO法人ふれあい広場・タンポポのはら』は、ハンディを持つ子や親と、より豊かな時を共有したいと願い平成6年に設立。ほかに居宅支援サービス事業所『いーよ』や児童デイサービス事業所『ニコリ』も運営し、生活実習作業所では、天然酵母パンも製作・販売している。平成12年に特定非営利活動法人格取得。

ぬくもり伝わる「えと鈴」



えと鈴のデータ

料金 1,000円
販売場所 「ふれあい広場・タンポポのはら」「りんくる」
ふれあい広場・タンポポのはら
〒花川南4-5-21 ☎73-9056

新 春の縁起物として知られる、えと鈴。『NPO法人ふれあい広場・タンポポのはら』では、「このえと鈴を「みんなで長くかかわれるもの」として、平成9年から作っている。

8年目となる西のえと鈴は、理事の柏野俊子かしわのしゅんこさんが昨年10月から制作開始。ほかとの違いは石こうの型でかたどるだけでなく、型から出した後に手作業で細かい形状を作りだしている点だろう。それゆえ一つひとつがオリジナル。素朴で温かみのあるえと鈴に仕上がっているのだ。また、同梱される敷物やしおりは作業所に通う利用者たちが制作。最終的に施設の全員で作りがあげている点も大きな特徴だ。ぬくもり伝わるえと鈴で、今年も良い年でありますように！

春の縁起物として知られる、えと鈴。『NPO法人ふれあい広場・タンポポのはら』では、「このえと鈴を「みんなで長くかかわれるもの」として、平成9年から作っている。

大募集!!

毎月の締め切りは前月の5日!!

特集をはじめ広報紙への意見や感想、批評、質問などをお寄せください。匿名希望の場合もお便りには名前・住所・電話番号を必ず明記してください。



〒061-3292 石狩市役所
広報いしかり 係
☎0133-72-3153 ☎0133-74-5581
✉PR@city.ishikari.hokkaido.jp

句歌歳時記

俳句

ふぞろいのポプラ並木や秋の風

釣本 峰雄

朝霜のおりたる竿を拭きあぐる

向 節子

はしご酒夜霜の路は二人連れ

田中 五郎

短歌

ムックリに鶴の舞など次つぎと

早川 郁

踊ればわれも手拍子合はず

藤林 義明

この星を汚すやからを怒ること

岩戸神話を思はず日蝕

ひと夏の過ぎる早さに冬マツト

敷けば明るく日差しに映ゆる

永田 和

118年目の「石狩警察署」

昨年（平成16年）4月、親船町の警察官派出所跡から「石狩警察署」の石碑が見つかったと連絡がありました。早速行つて見ると、高さ75cmで底面は18cm×14cmの長方形をしており、細長いピラミッドのような形をしていました。軟石でできているためか、あちこち傷ついていましたが、はつきりと「石狩警察署」という文字が読み取れます。



複合施設の前に建てられた「石狩警察署」の碑

「石狩警察署」という名称は、明治20（1887）年から明治22（1889）年にかけて使われたのが最初です。以後、大正から昭和にかけての時期に一度、さらに戦後まもなくのごく短い期間の三度にわたつて用いられました。この石碑には年号などが入つておらず、文献もないことからいつ設置したのかよく分かりませんが、この石碑が全く忘れられていたことから考えると、最も古い明治20年ごろのものではないかと考えています。

石狩本町地区には、当時、石狩ほか厚田、浜益を管轄する郡役所があり、警察署は、その隣に建てていました。石狩には、渡船場があっただけでなく、江別行き※の外輪船の出発地になるなど、石狩川の水運の中心地でした。そのため警察署の管轄は、石狩から厚田、浜益、篠路に及び、治安の維持に大きな役割を担っていました。

この石碑が発見される契機になったのは、本町地区の再開事業です。1月11日に、旧役場庁舎と駐在所の跡に、市営住宅のほか、出張所、郵便局、銀行のキャッシュコーナーなどが入った複合施設がオープンします。

「石狩警察署」の碑は、石狩町開基300年を記念した「賛石狩郷」の碑とともに、この複合施設の前に建てられています。118年目の「石狩警察署」の碑と新しい複合施設の取り合わせは、再開事業により過去と未来が交差する本町地区の今を象徴しているようです。

（工藤義衛）



1月11日オープンの複合施設（本町地区）

■文化財課 ☎72-6123

✉bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

■いしかり砂丘の風資料館 ☎62-3711

✉i-museum@bz01.plala.or.jp

■石狩浜海浜植物保護センター ☎60-6107（冬期 ☎72-3240）

✉ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

※石狩川の外輪船（がいりんせん）

明治17年から昭和10年まで運航。最初は石狩一月形間で運航され、最盛期には石狩から江別を経由し恵庭・砂川までの航路があった。